



相談支援センター
くらふと

わからないこと、
不安なことを解消するために、
いっしょに考えます



くらふと再編。変わるものと変わらない思い

4月から新体制となりました。人員の変更や事務所の移転など再編の際にはご迷惑をおかけしましたが、徐々に落ち着きを取り戻しつつあります。これまでは相談支援体制の構築やネットワークづくりなどの地域活動にも力を入れてきましたが、江相連が発足したことで役割を分担することができました。区内の一相談支援事業所として相談支援センターくらふとが存在していることを職員一同改めて認識し、本来の役割である利用者支援を大切に、身近な地域課題へもしっかり目を向けていきたいと思えます。

今年度の取り組みとして、法人内の他事業所との連携を今まで以上に強化したいと考えています。特に地域移行に関して、各事業所で実施している既存の取り組みを相談支援事業所であるくらふとが再確認し、各事業所の強みを理解して必要な方に支援を提供していきます。法人内だけでなく、関係機関との連携も取りながら、地域移行の促進に寄与していきたいと思えます。また法人内連携強化のための取り組みとして、地域活動支援センターこまつがわと合同での事例検討を予定しています。相談支援は個々で動くことが多く、事業所内で話し合う時間が限られている現状があります。事例検討を実施することで、今まで点の支援だったものが、面の支援に変化し、チーム支援の実践につながっていくのではないかと考えています。事業所間の交流によってお互いの視野を広げ、よりよい実践につなげていきたいと思えます。

今までとは一味違うくらふとになっていきますが、大切にしていることは変わりません。くらふとの事業所名の由来でもある「Creating Reasonable Accommodation For “The way we are” 一だれもが“ありのまま”に暮らせるよう必要な配慮を考えます」という理念のもと、利用者の方一人ひとりの希望や困りごとに寄り添いながら支援を実践していきたいと思えます。